

明治用水頭首工復旧対策検討委員会（第2回）
議事に関する委員長メモ

漏水発生メカニズムと原因の分析、本復旧に係る対策工法の検討のため、

- 堰軸及びP1周辺における空洞を早急に確認し、必要な応急処置も視野に入れて、調査を行うことが重要
- 堰本体、魚道下、エプロン下部等の空洞について、位置と規模を推定できる資料を作成すること
- 浸透流解析について、目的を明確にし、適切な手法により行うこと
- 調査結果を具体的にどのような図にとりまとめ、何に使うかを明確にして、作業を進めてほしい
- 本復旧に向け、中長期的な視点をもって調査・検討・本復旧のロードマップを次回の検討委員会で示すべき